令和８年

第10回10月定例教育委員会議事録

令和８年10月27日

大 野 城 市 教 育 委 員 会

次　　第

1　招集日時
　○招 集 日　　令和８年10月27日
　○開会時間　　午前10時30分
　○閉会時間　　午前11時23分

2　招集の場所　　大野城市役所　本館３階　庁議室

3　会議次第

（１）開会

（２）議事録署名委員の指名
　令和８年第９回９月定例会議事録の署名委員　佐藤　友恵　委員
　令和８年第10回10月定例会議事録の署名委員　　關　　知子　委員

（３）議事
　第34号議案　大野城市転入学検討委員会委員の委嘱について

（４）教育長報告　なし

（５）報告
　①令和８年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査結果報告について

（６）その他
　①令和８年９月議会報告（教育部所管の一般質問）《概要》
　②教育長の業務報告（９月～10月）
　③教育委員会の主な行事・業務の予定（11月）

（７）閉会

4　出席した委員等　　元主　浩一（教育長）・髙野　英機・山口　典子
　　藤河　久美・佐藤　友恵・關　知子

5　欠席した委員　　なし

6　出席した職員　　教　育　部　長　　若山　純哉
　　教 育 総 務 課 長　　光野　直隆

	学校・地域連携課長	松岡　真彦
	学校・地域連携課長	中原　英貴
	教育支援課長	岩下　剛司
	教育支援課主幹指導主事	磯田　哲郎
	スポーツ課長	甲斐　めぐみ
	教育支援課総括指導主事	井上　和博
	教育総務課係長	徳永　雄介
	教育総務課担当	山口　剛侍郎
	教育総務課担当	木下　誠
7　会議の書記	教育総務課担当	木下　誠
8　傍聴者	なし	

午前10時30分　開会

○元主教育長

おはようございます。

ただいまより令和8年10月定例教育委員会を開会いたします。

本日は、傍聴の申し出はありません。

〔議事録署名委員の指名〕

○元主教育長

それでは、次第の2、議事録署名委員の指名に入ります。

前回の9月定例会にて佐藤委員にお願いしておりましたので、ご署名をお願いいたします。

今回の議事録の署名については、關委員にお願いいたします。次回の委員会においてご署名をお願いいたします。

○關委員

はい。

〔議事〕

○元主教育長

次第の3、議事に入ります。

〔第34号議案　大野城市転入学検討委員会委員の委嘱について〕

○元主教育長

第34号議案、大野城市転入学検討委員会委員の委嘱について、岩下教育支援課長説明をお願いします。

○岩下教育支援課長

第34号議案、大野城市転入学検討委員会委員の委嘱について説明いたします。

1ページをご覧ください。

大野城市転入学検討委員会委員の委嘱につきましては、大野城市学びの多様化学校に関する取扱要綱第6条第2項の規定に基づき、教育委員会が委員を委嘱することとされてお

りますので、今回承認を求めるものであります。

2ページをご覧ください。

今回委嘱いたします委員は記載のとおりです。

委嘱期間は令和8年10月29日から令和9年10月28日までとなります。

以上、ご審議よろしくお願いいたします。

○元主教育長

ただいまの説明についてご質問はございませんか。

これより採決に入ります。

第34号議案について承認することに異議はありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしですので、第34号議案について承認すべきものと決します。

〔教育長報告〕

○元主教育長

次第の4、教育長報告。

今回は報告すべき事項はありません。

〔報告〕

○元主教育長

次第の5、報告に入ります。

〔(1)令和8年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査結果報告について〕

○元主教育長

(1)令和8年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査結果報告について、教育支援課 井上総括指導主事説明をお願いします。

○教育支援課 井上総括指導主事

本年度の全国学力・学習状況調査及び福岡県学力調査の結果につきまして、配付資料の

令和8年度学力調査結果報告書をもとに説明いたします。

資料2ページをご覧ください。

評価に関する調査について、大野城市の各教科の平均正答率及び平均スコアは、小学校が国語67．0％（全国比110．0）算数59．0％（全国比104.6）、中学校は国語68．0％（全国比106．4）数学63．0％（全国比111．5）英語507点（全国499点、福岡県483点）です。

全教科で県及び国の平均正答率及び平均スコアを上回っております。

なお、中学校の英語はIRT方式の平均IRTスコアを用いています。

資料3ページをご覧ください。

経年変化グラフが示すとおり小中学校ともに国語の全国比が前年度より向上しています。

中学校数学は対全国比で前年度より0.3ポイント下がっていますが、110を超える極めて高い水準を保っています。

資料21ページをご覧ください。

資料21ページから資料23ページの県の学力調査結果においても、全対象学年教科で県平均を1～2段階上回る水準にあります。

続きまして資料6ページの同一集団比較をご覧ください。

同一集団の学年進行に伴う推移をみると、小学校国語では県平均比が106．3（小5）から109．8（小6）へと3．5ポイント伸長しています。小学校算数、中学校国語・数学では前学年比で僅かな減少が認められるものの、各教科とも県平均を大きく上回る水準を堅持しています。

資料16ページをご覧ください。

質問紙調査の結果では、朝食摂取率が小学校82．9％　中学校81．0％となっています。

また、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」という質問に対して、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒は約8割となっています。

これまで説明しましたように、市全体としては確かな学力の育成が図られております。

校長先生をはじめ各学校で児童・生徒を支援くださっている多くの先生方に、改めて感謝申し上げます。

一方、課題もあります。

資料15ページをご覧ください。

先ず小学校についてです。

小学校では、（質問38）発表の工夫57．5％（前年比＋5．3）や、（質問39）自ら課題解決

に取り組む姿勢71.4%(前年比－6.1)が、県平均及び全国平均を下回っています。

自ら課題解決に取り組む姿勢は、教科に関する調査や学力との相関が非常に高いことから、自分で見通しを立てて主体的に学ぶことに課題があると言えます。

次に中学校についてです。

中学校では、(質問39)自ら課題解決に取り組む姿勢は80.7%(前年比+4.6)と8割を超え、県平均及び全国平均も上回っており、主体的に学ぶことに成果が表れています。

一方、(質問38)発表の工夫は52.5%(前年比－2.3)と全国平均を13.0ポイント下回っており、自分で考えることはできているが、それを他者に工夫して伝えるスキルは全国レベルに達していないことが分かります。

自分の考えを他者に工夫して伝えるスキルや、伝えることができた実感を獲得していくことが、本市の課題だと考えます。

ただし、このような成果や課題は市全体の傾向を表しているものであり、学校によっては少し異なる部分もあるかと思います。

これらのことを踏まえて先日の校長会におきまして、令和8年度の学力調査から得られた成果や課題を学校内で共有し、小学校では高学年の先生のみではなく全学年において、また中学校においては特定の教科の先生だけでなく全教科においての授業改善をお願いしたところです。

以上で説明を終わります。

○元主教育長

ただいまの説明についてご質問はございませんか。

髙野委員どうぞ。

○髙野委員

資料24ページからの棒グラフについて、大体の中央値はわかりますか。

○教育支援課 井上総括指導主事

中央値のデータはございません。

○髙野委員

わかりました。

もう一点、令和8年度全国学力・学習状況調査及び福岡県学力実態調査結果が発表された後、西日本新聞にも掲載されましたが、1日に3時間以上スマートフォン等を視聴している児童・生徒は50％近くになっており、その使用時間は増える方向で推移しています。

大野城市のスマートフォン等の使用時間の推移はどうなっているかわかりますか。

〇教育支援課　井上総括指導主事

本日、ご回答できる資料がございません。

令和8年度及び過去の調査結果を確認の上、ご報告いたします。

〇元主教育長

調査の上、報告してください。

〇髙野委員

スマートフォン等の長時間使用が学力に与える影響については、8年位前から東北大学が仙台市と協力して調査し、SNSを見る時間の多さによって学力が急激に変わっており、相関関係があるとの報告が出ている。

学力・学習状況調査のデータを分析の上、大野城市ではどうなっているかということを出してみて、東北大学の調査と同様な傾向が強いのであれば、各家庭にも結果を伝えて教えるべきだと思います。

市の条例等で子どもたちを規制しようとする自治体もありますが、そんなことより教育委員会が家庭の保護者の皆様に、子どもたちのスマホの使用に関して注意を喚起することが、先ずは必要ではないかと思慮します。

また、大野城市の結果に強い傾向が見られなかったとしても、全国的な傾向としてお伝えいただきたい。

〇教育支援課　磯田主幹指導主事

家庭でのタブレット端末等の使用状況等については、全国学力・学習状況調査等でも毎年質問項目として上がっており、これまでの調査の文部科学省の見解としては、タブレットの使用時間と学力との強い相関は見られていないということが言われています。

また、先ほど髙野委員よりお話がありました東北大学の川島先生は、使用時間を自ら制限して1時間で止めるとか、自分で決めた範囲の中で使用するとかの自制できる力が、学力

と強い相関があるということを報告されていますので、髙野委員のご指摘のように、これまでの大野城市の状況を確認いたします。

〔その他〕
(1)令和8年9月議会報告(教育部所管の一般質問)《概要》
(2)教育長の業務報告(9月～10月)
(3)教育委員会の主な行事・業務の予定(11月)

○元主教育長
　これをもちまして10月の定例教育委員会を閉会いたします。

午前11時23分　閉会